

# ドクニンジン (poison hemlock)

*Conium maculatum*

セリ科

## 特徴(見分け方)

- 高く成長する二年草で、2年目の高さは8から10フィートになる。
- 明るい緑色の葉を持ち、その形はシダにも似て、カビの臭いを発する。
- 1年目の植物は、茎に赤みを帯びた斑点がある。レース状の葉の低い木立を形成。
- 1年目は、レース状の葉が低い位置に集中し、茎には赤っぽい斑点が表れる。
- 2年目には、茎が太くなり、空洞で、無毛、うねがで、赤系色、又は紫色の斑点・縞模様がある。
- 開花時には、極小さい五つの花弁をもつ白い花が、沢山の小さな傘状の房を形成する。
- 種は初めは緑色のうねのある鞘で、後に茶色に変わる。

## 生態

種によって繁殖する。1年目はロゼットのような形に成長し、2年目は複数の高い茎が伸び、開花する。3月から5月の間に成長が速く、春の終わり頃に開花する。一本の植物に多くて4万個の種が出来る。種は木の周りに落下し、侵食や動物、雨、人間の活動によって広まる。種は6年間保ち、生長期間中いつでも発芽する。休眠期を必要としない。

## 影響

人間、家畜、野生生物などに対し急性毒性の成分を持ち、食べた場合、死に至る呼吸麻痺を起こす。強い繁殖力で、望ましい植物の生息の場を奪う。他の草が少ない春先には、生長中のドクニンジンが動物にたべられやすくなる。小さいうちは、ニンジンと間違えられることがある。

## 地域

ユーラシア大陸原産。北米大陸の多くの地域に生息。キング郡にも広く生息し、例えば道端、川辺、溪谷、野原、溝や管理されていない庭や空き地で繁殖する。湿った土と直射日光を好む。しかし、より乾燥した土や日影の場所にも順応できる。

## 対応

ドクニンジン除去する。その土地、特に人間、ペットや家畜が入れる場所について、利用者に警告する。この植物は食すると、全ての部分に毒性があり、乾燥した茎でさえ、3年目まで毒が残る。扱う時は、必ず安全防具(軍手、長袖など)を着用すること。もし毒に当たった疑いがあつたら、直ちに医療機関に助けを求めること。早急な医療措置によって、ドクニンジンの人や動物への毒性の作用は解消させることができる。ドクニンジン公共の土地や道路で発見した場合は、キング郡有害雑草防除プログラムまで、連絡して下さい。

B級有害雑草 公共土地・道路での防除の義務付け。



ドクニンジンの葉はシダに似た形の明るい緑色で、カビのような臭いを持つ。



太くて、毛のない茎には、赤系・紫色の斑点・縞模様がある。



春の終わり頃に、5つの花弁を持つ極小さい花の房が表れる。

## 不明点、ご質問などは：

キング郡有害雑草防除プログラム：206-477-WEED [kingcounty.gov/weeds](http://kingcounty.gov/weeds)



## 防除方法

### 手作業による方法

**軍手、長袖などを着用すること。** 少ない場所では、引っ張ったり、掘ったりして、ドクニンジン根を抜く。根っこを完全に除去すること。ドクニンジン根を扱った後は、手などをよく洗うこと。十分な効果を得るためには、生長した全ての株を除去し、種ができないようにする。除草後は、置き藁を敷いたり、望ましい植物を植えることで、土中に残っているドクニンジン種の発芽・生長を抑えられる。発芽可能な種を含んでいる場合があるため、花房を地面に残さないこと。除草後のドクニンジン根は、堆肥の材料にせず、ビニール袋に入れ、一般ゴミとして出すこと。

### 機械による方法

**注意：ドクニンジン根を草刈り機などで刈ると、毒の成分を吸い込む可能性がある。** 毒の成分を吸入する可能性があるため、機械で刈らないように。その上、刈ってもまた生長する。

### 薬品による方法

除草剤は、必ずラベルの指示に従って使用すること。そして使用場所において合法的な製品のみを使用すること。除草剤の使用濃度や頻度は、必ずラベルの指示に従って、使用すること。春に葉や茎に散布し、もう一度夏に散布することで、後から出てくる新芽も除草できる。除草剤は花が咲く前に使用することがより効果的。生長したドクニンジン根に除草剤を散布しても、種ができるのを防げないこともある。草の多い土地の場合、活性成分としてトリクロピル、2,4-D、またはメトスルフロンメチルが入った、広葉除草剤の局所的な使用が効果的。グリホサート配合の製品も効果的であるが、広葉植物と共に草まで枯す。除草剤を撒いたドクニンジン根は、枯れてしまうまで刈らないこと。種は生長期の季節中発芽するので、徹底的に除草するためには繰り返し散布することが必要。薬品による防除方法は、個人、業者、行政のそれぞれの利用者によって異なる。詳細については、有害雑草防除プログラムにお問い合わせください。



若いドクニンジン根は普通の食用ニンジン根に似ているが、全ての部分（根、茎、花、種、葉）に毒性がある。必ず安全防具を着用し、注意して扱うこと。



短期間で空いている土地を占領し、有益な植物にとって代わる。

## 似ている植物：

ノラニンジン (*Daucus carota*) の他、セリ科の似ている他の植物、例えば、フェネル、チャービル、アニスなども、ドクニンジンと間違えられやすい。

ドクニンジンとノラニンジン根を区別する為のポイントはいくつかある：ノラニンジン根は約3フィートの高さまでしか生長しない。緑色で模様やうねの無い茎には細かい毛が生えており、枝は少ない。ドクニンジンより遅く、夏に開花する。それと異なり、ドクニンジン根は8フィート以上の高さまで伸びることがあり、葉は強いカビ臭を放ち、毛のない茎には赤系色や紫色の斑点模様がある。



ノラニンジン (別名Queen Anne's Lace) はしばしばドクニンジンと間違えられる。



早春に、明るい緑色のレース状の葉でできた盛り上がりを探してみてください。最も大きい茂みは2年目のドクニンジンで、春の終わり頃に花を咲かせる為の栄養を蓄えている。